

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

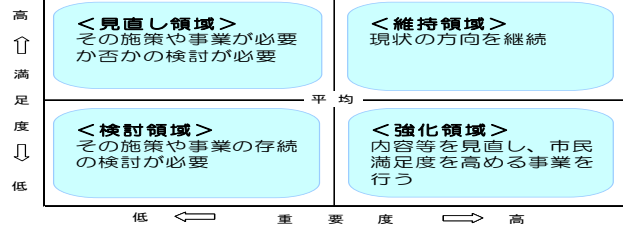
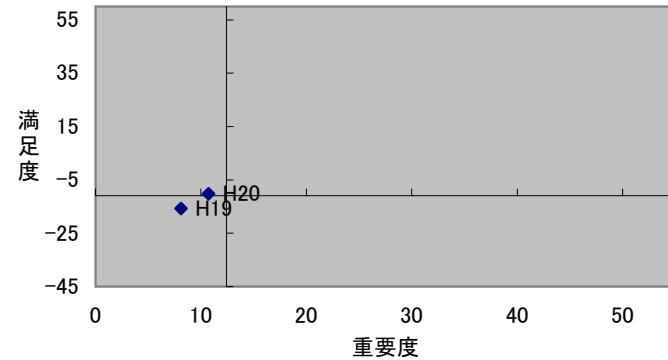
施策名 (小項目)	環境保全	コード	作成者	役職	環境課長
		01-02-01	氏名	宇野信行	
			電話	64-1822	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	自然と共生するまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	大気汚染、水質汚濁、騒音、振動などの環境問題の影響を受ける市民に対し、大気や水質の調査測定を行い公表することにより、市民の生活環境の保全と健康の保護を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	大量生産・大量消費・大量廃棄型社会による環境破壊は、大気汚染、水質汚濁、酸性雨、地球温暖化現象、オゾン層の破壊といった現象として現れている。これら環境問題に取り組むには市民一人ひとりの日常生活や事業者の事業活動の中で、それぞれが環境に対する責任と役割を理解し、資源やエネルギーの効率的な利用による循環型社会の構築や自然環境の保全が重要となっている。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 大気については、常時監視を行い、工場等の協力を得て汚染物質等の排出抑制を図る。 水質については、海・池・河川の測定、分析を行ない、汚濁の状況を監視する。 騒音・振動については、発生源となる工場等に規制基準等を遵守よう指導するとともに、一般環境の中で騒音の状況を監視する。 悪臭については、規制区域ごとにそれぞれ基準を設けて規制していく。 地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出削減を通じて環境保全に努める。 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	8.1	10.7	
満足度(%)	-15.7	-10.2	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動といった公害問題についての苦情、問い合わせが定期的に寄せられていることから、市民の方にも環境についての関心が高さが伺えます。今後も、環境の保全や改善に向けた新たな取組みを行っていただければと思います。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 騒音、大気汚染などの公害に悩まされている市民の割合	目標 % 実績 % 達成率 %	20 23.3 85.8	20 25.6 78.1	20 22.8 87.7	20	20	20		市民意識調査結果
2	目標 実績 達成率								
3	目標 実績 達成率								
4	目標 実績 達成率								

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接事業費		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 大気汚染防止事業	B	大気環境測定局維持管理事業	施設維持管理	7,308	1,030		4,939	1,110	0.15	6,664	114	0.02	☆☆☆	\$\$\$	5,464
		大気汚染監視事業	その他単市	1,241	1,178		1,220	1,015	0.16	929	839	0.13	☆☆☆	\$\$\$	1,010
		測定機器整備事業	施設維持管理	10,271	1,030		6,140	958	0.13	256	93	0.01	☆☆☆	\$\$\$	300
		環境改善施設等整備助成事業	国県補助事業	485	956		3,304	1,110	0.15	4,590	286	0.05	☆☆☆	\$\$\$	4,890
		届出受付事務	その他単市	0	0		35	462	0.07		57	0.01	☆☆	人件費のみ	
2 水質汚濁防止事業	B	水質調査測定事業	その他単市	3,312	3,466		3,860	3,974	0.52	2,465	710	0.10	☆☆☆	\$\$\$	1,950
		測定機器整備事業	施設維持管理	0	0		0	0	0.00		140	0.02	☆☆	\$	
		休廃止鉱山鉱害防止事業	国県補助事業	103,395	30,666		86,802	26,473	4.45	80,930	25,954	4.18	☆☆	\$\$\$	65,943
		金剛川浄化対策協議会運営事務	内部管理	820	1,064		0	0	0.00	820	965	0.12	☆☆	\$\$\$	820
		岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	内部管理	10	404		10	485	0.08	10	0	0.00	☆☆	\$\$\$	10
3 騒音・振動対策事業	B	届出受付事務	その他単市	0	0		20	570	0.08		47	0.01	☆☆	人件費のみ	
		苦情処理事務	その他単市	10	1,280		41	855	0.12	14	208	0.04	☆☆	人件費のみ	
4 まほろば事業	B	まほろば事業	その他単市	163	14,986		0	9,640	1.10	86	5,248	0.70	☆☆☆	人件費のみ	38
5 地球温暖化防止対策事業	C	地球温暖化防止対策事業	その他単市	0	4,657		0	10,168	1.04	4,528	3,121	0.40	☆☆☆	人件費のみ	
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)								
				127,250	61,673	106,566	59,130	8,400	101,336	40,539	6,190	80,453			

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	野谷坑廃水処理場改修事業	老朽化している処理場を改修し、施設を自動化することにより、維持管理費の軽減を図る

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
評価	判断理由		評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	4	適正な事業実施ができています。	3	適正な事業実施ができています。さらに努力が必要である。
2 事業構成の適当性	3	妥当である。	3	環境保全対策事業として妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	4	環境保全のため必須の事業である。	4	環境保全の推進が図られており有効な施策である。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	休廃止鉱山鉱害防止事業の坑水処理は、半永久的な事業であり効率のよい処理方法が求められる。また、地球温暖化防止対策事業は全国的な問題であるが、備前市としても積極的に取り組んでいく必要がある。		水質、大気汚染等の公害に悩まされている市民の割合は高い。市民から改善されたと実感されるよう問題解決に努めること。	
二次評価者コメント 役職 民生部長 氏名 鶴川 晃匠	環境問題は、国はもとより多くの市民団体、NGO等が参加し、さまざまな視点で議論がなされている。その分野は公害をはじめ多種多様である。本市においても、日常生活に大きく影響を及ぼす公害、さらには生活環境などの諸問題について、市民一人ひとりが環境に対する責任と役割を理解し、官民一体で環境の保全や改善に向けて取り組む必要がある。			基本施策への貢献度 3中立